

根 廃炉へ4100人の熱気

島 さよなら原発大集会 参加者の思い

「NO放射能 子どもたちを守れ」「原発いらない 命が大事」などのプラカードなどを手に、松江市のくびきメッセに4100人が参加した20日の「ひろげよう! みどりのエネルギー さよなら島根原発大集会」(実行委主催)。島根原発の再稼働・稼働を断念させようの熱気に包まれました。

鳥取民医連はマイクを3台で参加。手塚智子さん(42)は「国民の半分以上が廃炉を」と言っています。人々が思っていることと国がやっていることはかみ合っていない。声を上げ続けることが大事と参加しました。エネルギーは国策というなら私たちは自分たちで使うエネルギーは自分たちで決めたい」と力

を込めます。岡山市からバスで参加した竹板玉枝さん(87)は、「福島の被害を見ただけでも再稼働は絶対許せない。そのことを政治家はなぜわからんのか。国民のほとんどのが反対なのに。原発をなぜ動かさないといけないのか。電気は足りている」と語ります。

広島市から44人と駆



集会後、パレードする大國県議候補、尾村利成(先頭左端から)と参加者ら=20日、松江市

け付けた佐久間邦彦さん(69)は「3・11後、多くの人が原発事故の考え方を変えている。

3年たっても収束してこない。原発にはサラバする時だとの思いで来ました。被爆者としても許せない」と話していました。

参加者は①原発災害を二度と繰り返さないために、政府・島根県政・松江市政の原発推進路線を、住民の力で転換させよう②住民共同の力で、『みどりのエネルギー』をひろげ、原発のない安全で活気ある地域をつくる③との集会宣言を採択。市内を行進しました。

西日本のページ